

- * **2.5%の年金引き下げは、高齢者の生活をさらに貧しくし、景気を後退させるから反対！**
- * **2.5%の年金引き下げで地方自治体の財政はさらに悪化、住民の福祉は後退するから 反対！**
- * **65 歳以上のすべての高齢者に、基礎年金の国庫負担分 3.3 万円を支給せよ！**
- * **最低保障年金制度の創設を急げ！**

毎週金曜日、首相官邸のあたりに「脱原発」を主張する人々が集まり始めて、ついに 7 月 16 日には 17 万人の集会となりました。

翌日の赤旗と東京新聞の朝刊一面には、大きな写真と記事が載り、その迫力に圧倒されました。以後、毎週金曜日、数万人の人々による集会が続いています。

これまでデモに参加したことのない人々の集まりとのこと、世の中は転換点に立ったようです。

質問にお答えします。

Q, 年金振込通知書が、4 万件も間違って送られていたそうですが、**どういうことですか。**

A、8 月初旬、北海道の受給者 4 万人に、記載誤りのある「年金振込通知書」が送付されました。

8 月 10 日、日本年金機構は、記者会見を開き訂正とお詫びの記者会見を行い、4 万人の該当者にお詫びの文章とともに訂正後の「振込通知書」を再度発送しました。

* 日本年金機構から報道関係者に配布された文章は、日本年金機構のホームページから見るができます。

***この問題での年金者組合の対応について**

まず事実の確認をしました。

8 月 9 日（木）年金者組合・北海道本部から中央本部に、「**宛名と中味が食い違う年金振込通知書**」を受給者の一部が受け取っているとの問い合わせがあり、すぐに日本年金機構本部に確認の電話を入れました。

日本年金機構の返事は、「事故が起きているとの問い合わせがあり、範囲、規模、原因など調査中」とのことでした。この時点では事故は公表されておらず、年金振込通知書（平成 24 年 8 月分）に記載誤りがあるらしいことは認め、日本年金機構側に緊張感を感じました。

8 月 10 日（金）日本年金機構本部から電話での回答があり、「北海道の受給者 4 万人に記載誤りのある振込通知書を発送した。宛名と中味が別人であった。今日中には記者会見を開き発表する」とのことでした。

日本年金機構本部と話し合いをしました。

年金者組合として、日本年金機構本部に直接の説明と話し合いを求めました。

8月13日(月)午前11時から、日本年金機構本部会議室で話し合いに入りました

日本年金機構側からは、広報室・参事役と給付企画グループ長の計2名が出席、年金者組合からは、富田書記長と相談部長阿久津が出席しました。

日本年金機構からは、次のような説明がありました。

* 8月8日発送分の中の、札幌市中央区と東区の方で、9日に受給者から問い合わせが入り始め、調査を開始したこと。

* 事故の内容については、記者会見で配布した文章のとおりであること。

* 原因は、下請けの印刷業者が宛名と中味の印刷をずらしてしまったこと。その量は1束5000件を8束で、4万件になったこと。

* 下請け業者の選定については、その都度競争入札で行い、通常の入札参加社は数十社であり、入札の透明性は確保されていること。

今回については年金額に変更のあった受給者分について、1350万件の振込通知書を全国7社で作成したこと。

* 事故を起こした北海道担当の印刷業者へのペナルティーについては、これから検討すること。

* 今回の事故は下請け業者の印刷上の間違いであり、年金額の計算は正しく行われていること。

以上のような内容を確認して話し合いは終わりました。

最後に、日本年金機構側から再度お詫びの言葉がありました。

.....

2007年の「宙に浮いた5000万件の年金記録」問題では、年金制度・年金事務に対する国民の信頼が大きく揺らぎました。まだその解決に取り組んでいる最中です。

今回の問題は、改めて、年金事務は下請けでいいのか、下請けでプライバシーは守られるのか等の問題提起がされていると思います。

さらに、年金事務は民間でいいのか、国の仕事ではないのかという問題に突き当たります。

.....

この問題では、年金者組合・北海道本部の早い段階での情報収集に改めて敬意を表します。

年金相談日は、毎週、火曜日と木曜日、午前11時から午後4時までです。

電話でのご相談は、03-5978-2751 FAXは、03-5978-2777

[E-mail/honbu@nenkinsha-u.org](mailto:honbu@nenkinsha-u.org)

相談・質問・意見をお待ちしています。

年金相談室 阿久津嘉子